



TITLE:

# I 研究所の概要

AUTHOR(S):

---

CITATION:

I 研究所の概要. 霊長類研究所年報 1974, 3: 2-13

ISSUE DATE:

1974-03-01

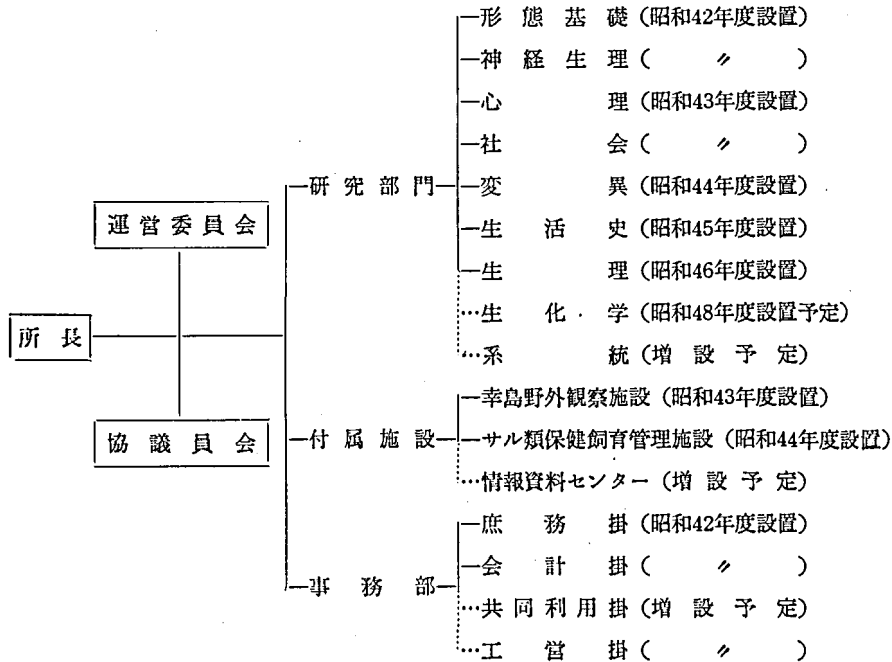
URL:

<http://hdl.handle.net/2433/162544>

RIGHT:

# I 研究所の概要

## 1. 組織



## 現 員

年度 \ 区分	教 授	助教授	助 手	小 計	事務系員	非常勤員	小 計	合 計
昭和47年度	6	8	17	31	28	17	45	76

## 大学院学生および研修員

年度 \ 区分	博士課程	修士課程	研 修 員	合 計
昭和47年度	0	2	2	4

## 2. 予算概況

年度 \ 区分	経 常 費			共同利用研究施設 運営費		設 備 経 費	小 計	科 学 研究費	合 計
	人件費	旅 費 <sup>1)</sup>	物件費	物件費	旅 費				
昭和47年度	千円 85,944	千円 7,613	千円 43,246	千円 24,282	千円 4,393	千円 12,668	千円 178,146	千円 29,310	千円 207,546

<sup>1)</sup> 経常費の旅費には外国旅費、外国人招へいおよび帰国旅費、在外研究員旅費および赴任旅費を含む。

## 科学研究費

年度・種類	研究課題	研究代表者	補助金額 千円
(昭和47年度)			
特定研究 (2)	サルの実験的不随意運動症発現のニューロン機構の研究	久保田 競	2,700
〃 (2)	匂刺激と生殖機能の神経生理学的研究	大島 清	1,900
〃 (2)	夜行性ザルの睡眠のポリグラフ的解析	登井 尋実	2,800
一般研究 (B)	嗅覚刺激が子宮収縮運動を変化させる機構の神経内分泌学的研究	大島 清	3,000
〃 (B)	サルの行動と前頭葉・側頭葉のニューロン機構の神経生理学的研究	時実 利彦	6,150
奨励研究 (A)	ニホンザルの初期隔離の効果の動物間のコミュニケーションに及ぼす影響	井深 允子	240
〃 (A)	サル精液の凝固性防止についての基礎研究	松林 清明	230
試験研究 (2)	霊長類における視覚、聴覚に関する各種絶対閾値および弁別閾値の測定方法の開発	室伏 靖子	1,300
特定研究 (1)	脳死と脳波に関する基礎的研究	時実 利彦	1,500
〃 (1)	脳障害の基礎的研究	時実 利彦	1,790
総合研究 (A)	霊長類の姿勢およびロコモーションにおける変異とその発現機構に関する総合研究	近藤 四郎	3,200
海外学術調査	インドを中心とする狭鼻猿の社会生態学および動物地理学的研究	杉山 幸丸	4,500
合 計	12 件		29,310

### 3. 研究設備 (47年度新設分)

#### ○形態基礎研究部門

2現象ブラウン管オシロスコープ (生体現象用前置増幅器 2ch. つき), デジタル筋電積分計 (2 ch.), パルス・カウンタ (6ケタ)。

#### ○神経生理研究部門

PDP-12A用 RK-8 ディスクカートリッジ。

#### ○心理研究部門

コントロール装置 (LAB-K), プロジェクター (グレインスタドラー社製)。

#### ○生理研究部門

カセットビデオ用 (白黒モニター, 白黒カメラモニター, カラービデオカセットレコーダー, カラーテレビ), 連続撮影装置 PC-2B, 多用途監視装置用ブリアンプ (RDU-5, RUP-45, RB-5, RT-5)。

#### ○サル類保健飼育管理施設

自動血球計算機, 温度集中監視盤, 脳波計 (9 ch.), 多用途監視記録装置, 東芝ベックマン酸素分析計 (E-2)。

### 4. 研究活動 (47年4月～48年3月)

#### 形態基礎研究部門

近藤四郎・岩本光雄  
岡田守彦・渡辺 毅

#### 研究概要

- 1) 霊長類の姿勢およびロコモーションの生機構学的研究<sup>1)</sup>

近藤四郎・岡田守彦・渡辺 毅  
早川清治<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 富田守 (お茶の水女子大・家政) との共同研究  
<sup>2)</sup> 文部技官